

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-3-1	施策名	危機管理体制の強化	施策主管課	防災危機管理課
施策の目指す姿		様々な危機に迅速に対応しています			
<p>■ 施策評価シート(平成29年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。 見直しのための取り組みはなされているが、不十分である。具体的には、「地区役員の高齢化」については自主防災組織未結成地域だけの問題ではないし、区長だけをターゲットに意識醸成を図る手法は効果的でない。また、FM難聴地域への対策については、「何を」検討するのか具体的な対策を示す必要がある。</p> <p>「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 貢献度や成果がC判定である事業について、「市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業・・・施策への貢献度の低い事業はないか」の欄において、「なし」とする根拠を明確にする必要がある。C判定である理由を整理して対象者に誤解を与えないような表現で説明すべきである。 「施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか」に記載の「自主防災アドバイザー制度」だけでは、自主防災組織未結成地域への対策として不十分である。行政からの働きかけと「自主防災アドバイザー制度」の2段構えとする必要がある。</p> <p>「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。 文章表現がわかりにくい部分がある。例えば、自主防災組織の結成が必要な理由から説明し、自主防災組織を結成した後も組織ではどういった問題を抱えているのか、その問題をどのように解決しているかなどを分析することが望ましい。 さらに、因果関係がはっきりした表現とする必要がある。自主防災組織の結成割合については、市の啓発活動により意識が醸成され成果が上がったということであるが、それが伝わらない。成果が上がった理由が明確になれば、自主防災組織未結成地域への対策にもつながる可能性がある。</p> <p>「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 市の立場を明確にした上で方向性を示すこと。具体的には、個別計画の取り組みを「お願いする」のではなく、市がなすべきこととして「図っていく」など市のスタンスがわかるような表現とする必要がある。</p> <p>●シート記載内容全般について 施策評価シートだけでは理解できず、施策主管課長の説明を聞かないとわからない点があった。市が実施した講演会などについては「誰に」、「何を」、「何回」など具体的に記載するとイメージしやすい。</p>					